

お知らせ文システムについて

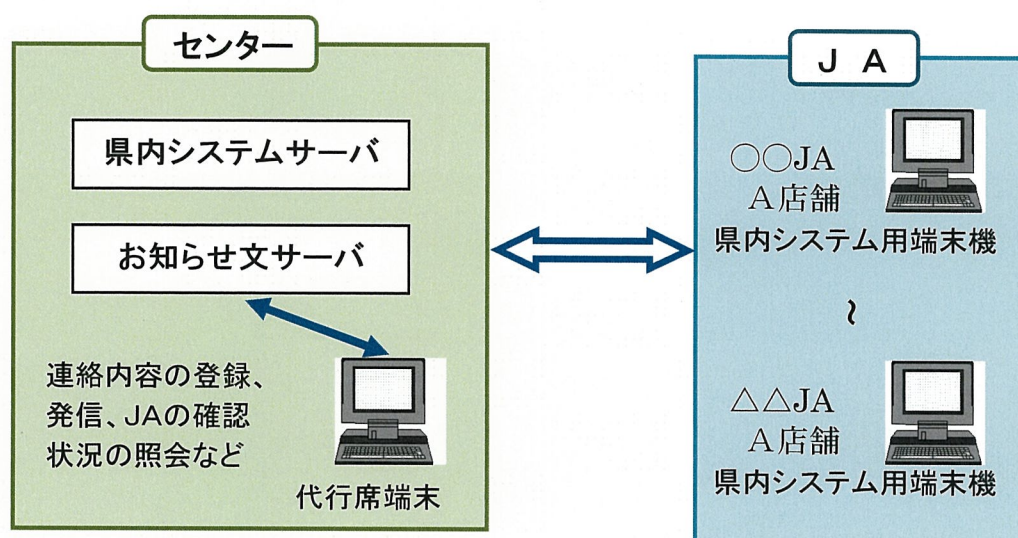
電算センターにおける危機管理対策の一つとして、JAへの緊急連絡対策「お知らせ文システム」を紹介いたします。

緊急時の連絡手段は、一般的に電話・FAXなどですが、多数の店舗にシステム障害状況・復旧見込み・対応などを迅速に連絡するためのセンターからの同報ツールです。これにより、JAの業務担当者は、障害の程度に応じて適切な顧客対応や適確な業務処理が可能となります。

《概要》

代行席端末からお知らせ（緊急連絡）内容を入力し、対象店舗を指定して発信すると、JAの端末に自動的にお知らせ内容が画面表示されます。

（※画面イメージは次頁参照）



主な特徴

《JA側》

- ◆端末機の電源がオン状態であれば、自動的にメッセージが表示される。
→ JA側での特別な操作は不要。
- ◆メッセージ確認後、直ちに業務処理の継続ができる。

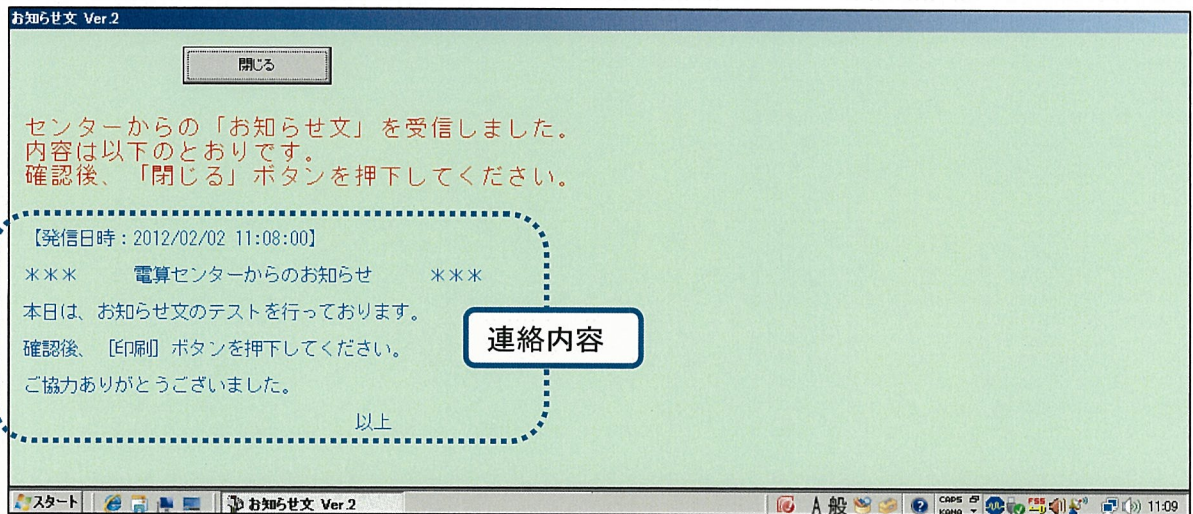
《センター側》

- ◆対象店舗の範囲指定により一斉連絡ができる。
- ◆事前に雛型文言（連絡内容）を複数登録しておくことにより、呼び出しての使用ができる。
- ◆JAの確認有無の状況を随時に一覧で照会できる。
→ 確認電文が自動的にセンターに送信される。
- ◆過去の連絡内容の照会ができる。

《表示イメージ》

(1) J A側端末機の電文受信機能（画面イメージ）

センターからの電文を受信すると自動的にブザー鳴り、次の画面が表示されます。窓口業務担当者は、連絡内容を確認し、**閉じる**ボタン押下により取引中の業務が続行できます。また、印刷も可能となっています。



(2) 代行席端末機の登録・照会機能（画面イメージ）

